

経営協議会の学外委員からの意見を法人運営の改善に活用した主な取組み
(平成30年度実施分)

平成30年度第3回経営協議会(平成31年1月17日)

- 基幹経費に評価に基づく部分が含まれるようになると、実質的に大学の裁量で使える経費が減っていく。その中で大学が強み・特色を発揮していくためには、ある程度の実績を重ねる準備期間が必要になる。その観点から、学長裁量経費を充実させ、弾力的な対応ができるようにしていくことが今後ますます必要になるのではないか、という意見があった。
- ・本意見を踏まえ、平成31年度学内予算(案)では、学長裁量経費を見直し、外部資金獲得を支援する経費を増額するとともに、新たに採択された「国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム」を円滑に実施するための費用を新規計上するなどの充実を図った。